

## 平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

## ◎基本情報

事務事業名	人権文化祭開催事業		担当 部署	健康福祉部 人権推進課 人権福祉センター	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市人権条例・鳴門市隣保館 条例	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	昭和 ▼ 49 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期
(小項目)	人権				
施策	1	人権の尊重			
基本事業	1	人権行政の推進			

## ◎事業概要(PLAN)

事業 対象	誰(何)を対象に しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民、行政機関、学校、企業、NPO法人、社会福祉法人、団体など														
事業 目標	対象をどのような状 態にしたい(目指す)の か	保育所・幼稚園・小・中・高等学校・社会福祉法人・NPO法人・市民等及び行政による人権問題に関する作品の展示や人権劇・講演会などを通じて、市民等に人権問題の存在とその解消に向けた取組みや人権尊重の大切さを理解し行動していくことにより、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題が解消されるとともに人権が尊重されるまちづくりに取り組む。														
事業 計画	27年度に何を計画し ていたか	平成26年度の人権文化祭での反省点や参加者の感想、アンケート結果などを踏まえ、より一層内容を充実し、多くの市民の方々が参加していただけるように、次の取り組みを進める。 ・NPO法人や社会福祉法人等からの作品展示の要請継続 ・鳴門教育大学への展示作品の出品について協力を要請 ・開館時間の延長(約2時間)を実施し、参加しやすい環境づくりを実施 ・終戦70周年記念パネル展の開催(川崎会館)														
成果 目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人権文化祭来場者数</td> <td>9,300</td> <td>9,400</td> <td>9,500</td> <td>9,500</td> <td>9,500</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	人権文化祭来場者数	9,300	9,400	9,500	9,500	9,500	人
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
人権文化祭来場者数	9,300	9,400	9,500	9,500	9,500	人										

## ◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	27年度は目標を達成 するため、手段として どのような活動を行っ ているのか	①人権意識の普及・高揚を図る取り組みとして、第42回鳴門市人権文化祭を開催した。 ②地元NPO法人、社会福祉法人や鳴門教育大学から作品展示への参加について協力を要請し、展示数の維持と内容充実に努めた。 ③人権文化祭全体の来場者数の増加を図るため、移動展を充実させただけでなく、人権文化祭開催期間日時の延長や記念講演会を金曜日に実施するなど、参加しやすい環境づくりを行い、来場者数の増加につなげた。 ④26年度に引き続き小学生児童を対象に同和カルタ大会を開催した。																																											
事業 実施 手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度実績</th> <th>27年度実績</th> <th>28年度目標</th> <th>29年度目標</th> <th>30年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標 実施した事業 の活動量を示 す指標</td> <td>1</td> <td>人権文化祭展示作品数</td> <td>1,903</td> <td>2,044</td> <td>2,200</td> <td>2,200</td> <td>2,200</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>人権文化祭講演会来場者数</td> <td>172</td> <td>160</td> <td>170</td> <td>170</td> <td>170</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>成果指標 対象にどのよ うな効果が あったか示 す指標</td> <td colspan="2">人権文化祭来場者数</td> <td>8,210</td> <td>9,517</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">目標達成率(実績/目標)</td> <td>—</td> <td>101.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	活動指標 実施した事業 の活動量を示 す指標	1	人権文化祭展示作品数	1,903	2,044	2,200	2,200	2,200	件		2	人権文化祭講演会来場者数	172	160	170	170	170	人	成果指標 対象にどのよ うな効果が あったか示 す指標	人権文化祭来場者数		8,210	9,517	—	—	—	人		目標達成率(実績/目標)		—	101.2	—	—	—	%
指標名	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位																																							
活動指標 実施した事業 の活動量を示 す指標	1	人権文化祭展示作品数	1,903	2,044	2,200	2,200	2,200	件																																					
	2	人権文化祭講演会来場者数	172	160	170	170	170	人																																					
成果指標 対象にどのよ うな効果が あったか示 す指標	人権文化祭来場者数		8,210	9,517	—	—	—	人																																					
	目標達成率(実績/目標)		—	101.2	—	—	—	%																																					
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり																																										

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	560	0	0	365	925
		全体予算額		0	560	0	0	365	925
		決算額		0	590	0	0	280	870
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.0	0.0	6,859	7,729				

【事務事業名：人権文化祭開催事業】  
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	698	870	1,040	1,040	1,040
	うち一般財源	314	280	414	414	414
	人件費	7,890	6,859	6,859	6,859	6,859
	総事業費	8,588	7,729	7,899	7,899	7,899

## ◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	記念講演会の来場者数は減少したが、開催時間の延長により人権文化祭全体の来場者数は増加した。
	効率性	B:概ね効率的だった	開催時間の延長等業務量は増加したが、人員を効率的に配置し、対応した。
②成果に対する評価	指標名	人権文化祭来場者数	目標の来場者数を上回った。
	目標	9,400 人	
	実績	9,517 人	
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		<b>B</b>	来場者数は増加したが、記念講演会の来場者数が減少したためB評価としたい。

## ◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>人権意識・人権感覚の向上が図られ、人権教育・啓発の成果はみられるものの、人権侵害の事象は、差別落書きやインターネットへの不適切な書き込み等が後を絶たず、また、障がい者問題などさまざまな人権問題においても、人権侵害の事象が発生していることに鑑み、なお一層の人権教育・啓発が必要であることから、今後も人権文化祭開催事業を継続すべきである。</p> <p>また、地域における生活上の課題の解決に向けた地域福祉の向上やさまざまな人権問題の解決が求められるとともに、地域全体に開かれたコミュニティセンターとしての役割が隣保館に求められており、市民全体に開かれた人権文化祭の運営形態が求められる。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>2</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度の人権文化祭での参加者の感想やアンケート結果などを踏まえ、引き続き人権文化祭開催時間の延長や記念講演会を金曜日を実施するなどし、来場者数の増加を図る。</li> <li>四国大学等に人権文化祭の作品出品を依頼し、作品数の増加を検討する。</li> <li>人権文化祭開催の節目の年などに人権文化祭記念講演会(大麻中人権劇を含む)の出張講演会を検討する。</li> </ul>			
	平成29年度	<p>より一層の人権意識の普及・高揚を図るとともに、さらなる来場者の増加を図るとともに、人権文化祭開催イベントとして同和カルタ大会に加え、人権クイズ大会等来場者が体験・参画できるようなイベントを企画するなど、新たな事業を検討する。</p>			